

市民の皆さんのご協力で/ 世界のごみゼロ先進20都市に 日本で唯一！選出されました！

横浜市では、長年にわたる取組により、ごみの量を約50%削減してきました。現在は、こうした成果をさらに発展させ、ごみを減らし、資源を繰り返し活用するまちづくりを進めています。

これまでの実績と取組が世界的に評価され、2026年3月、国連の「ごみゼロを目指す20都市」に、日本から唯一、横浜市が選ばれました。

国連の諮問委員会による主な選定ポイント

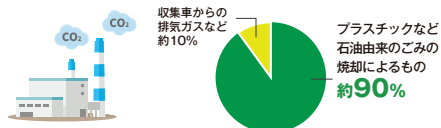
市民の皆さんとともに

- 人口が増加する中でも廃棄物を約50%削減したこと
- 2024年から環境にやさしい横浜発のライフスタイルを広げるプロジェクト(STYLE100)を展開していること

もっと地球にやさしいヨコハマへ カギはプラスチック！

横浜市では、ごみを処理する時に発生する温室効果ガスのうち、プラスチックなど石油由来のごみの焼却によるものが約9割を占めています。そのため、焼却するごみに混入するプラスチックをもっと減らす必要があります。

ごみ処理に伴い発生する温室効果ガスの内訳(2022年度)



プラスチックは「ごみ」から「資源」へ

横浜市では回収したプラスチック資源を **100%リサイクル** しています。



2025年4月からの プラスチックの分別の成果がでています！

燃やすごみに入っていたプラスチックを
こんなに削減できました



2025年4月にプラスチックの分別を市全体で変更してから1年。燃やすごみに入っていたプラスチックは、2022年度と比較して12,000トンも削減することができました。

今後は、2030年度までに20,000トンの削減を目指しており、年間1人あたりに換算すると5.3kgの削減目標となります。プラスチックを燃やさず活かすため、正しい分別に引き続きご協力をお願いします。

2030年度までに
5.3kg削減
(年間1人あたり)

プラスチック資源を 燃やすごみに入れてしまいませんか!?

正しく分別すれば、プラスチックは「ごみ」から「資源」へ生まれ変わります。



間違って燃やすごみに入っているプラスチック資源

お菓子の袋	納豆のパック・トレイ	調味料などのチューブ類
中身をはらえば OK!	容器の汚れは軽くすすぐか拭き取れば OK!	内側が洗えないものは中身を使い切れれば OK!
スポンジ	歯ブラシ	プランター
使用後でも OK!	金属が付いていなければ OK!	古いものでも泥をはらえば OK!

ミーツとイオンの分別詳細 **M1ctionary** ミクシヨナリー

分別に迷ったらミクシヨナリーで検索を!

問合せ 資源循環局業務課 ☎045-671-3815 ☎045-662-1225